

各位

普通鋼電炉工業会

「2014年 電炉鋼材フォーラム」開催のご案内

東京会場

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

普通鋼電炉会社は、鉄スクラップを電気炉により溶解・圧延し、鉄筋、形鋼、平鋼、厚板等の電炉鋼材を生産しております。電炉鋼材は建設分野を中心に幅広く使用されており、また今日、環境・資源循環等の観点からも鉄のリサイクルによって生まれる電炉鋼材への関心は日々高まっております。

当工業会では、毎年「電炉鋼材フォーラム」を開催し、官公庁・自治体・建設会社・設計会社・鉄骨加工・鉄筋加工・流通・教育研究関係をはじめとするユーザーの方々をお招きし、電炉鋼材の生産技術、鋼材使用の動向、電炉業をめぐる動きについての情報発信の場となるよう企画しております。

東京会場は、下記のとおり開催いたしますので、関係の方々のご出席をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

記

- 1.日 時：平成26年10月10日（金） 午後1時～4時30分
- 2.場 所：東京国際フォーラム 7階ホールB7
(東京都千代田区丸の内3-5-1 裏面案内図ご参照)
- 3.内 容：「2014年電炉鋼材フォーラム プログラム」をご覧ください。
*参加費無料です。 当日、関連資料を配布いたします。
- 4.パンフレット展示コーナー：東京国際フォーラム ホールB7会場内に開設します。
*会員会社の製品パンフレットを入手・持ち帰りができます。
- 5.申込方法：FAX：別添「参加申込用紙」にご記入の上ご送信ください。
当工業会ホームページ <http://www.fudenkou.jp>からも申込みができます。
- 6.申込み期限：東京会場 平成26年9月29日（月）
*なお、会場定員に達した場合は締め切とさせていただきます。
申し込まれた方の確認は、当日会場受付でさせていただきます。
事前に入場証等はお送りいたしません。
- 7.申込・問合せ先：普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125
(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館3階)



以上

2014年 電炉鋼材フォーラム 東京会場ご案内図

2014年10月10日(金) 午後1時~4時30分
東京国際フォーラム 7階 ホールB7
東京都千代田区丸の内3-5-1
TEL 03-5221-9050

案内図



JR線

- 有楽町駅より徒歩1分
- 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

地下鉄

- 有楽町線：有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
- 丸の内線：銀座駅より徒歩5分
- 日比谷線：銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
- 三田線：日比谷駅より徒歩5分
- 千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
- 銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

2014年電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

《プログラム》

1. 開催日時場所

開催日	場所	開催時間：午後1時00分～4時20分	参加費：無料
平成26年10月10日(金)	東京	東京国際フォーラム ホールB7(7階)(定員500名)	東京都千代田区丸の内3-5-1 Tel.03-5221-9050
平成26年10月16日(木)	大阪	マイドームおおさか Dホール(2階)(定員350名)	大阪府大阪市中央区本町橋2-5 (当日専用) Tel.06-6947-4304
平成26年10月23日(木)	名古屋	名古屋国際ホテル 老松(2階)(定員200名)	愛知県名古屋市中区錦3-23-3 Tel.052-961-3111

2. 会場プログラム

・以下プログラム内容は各会場共通 各社パブリック展示 *普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125 <管電工 ホームページ <http://www.fidenkou.jp>>

*当日開会に先立ち、毎年恒例の電炉業を紹介するビデオを上映いたしますので、ご興味ございましたらご鑑賞ください。

12:30-12:50 電炉業の紹介ビデオ「DENRO」上映

13:00-13:10

開会挨拶

13:10-13:40 発表30分(質問時間を含む)

最近の電炉鋼材の概況

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会

普通鋼電炉鋼材は、主に建設分野で使用される鉄筋棒鋼、厚板、一般形鋼、H形鋼、平鋼等の製品に加工される。普通鋼電炉業では、鉄スクラップを主原料として電気アークにより超高温溶解し、精錬・圧延工程を経て、新しいクリーンな鉄を再生している。電炉業は資源循環型産業であることを解説する。

電炉厚鋼板の品質・性能について

中部鋼鉄(株) 営業部販売室 主席 富田 和良

これまでに電炉厚板は様々な分野で使用されてきた。環境性能と高品質を両立した電炉厚板の優れた性能をご理解していただくため、主に建設分野における取り組みを紹介する。

13:40-14:30 発表45分 + 質問時間5分

講演

「東アジアの鉄鋼市場—能力過剰下の設備投資がもたらす競争のダイナミクス—」

東北大学大学院経済学研究科 教授 川端 望

東アジアの鉄鋼市場では、生産能力が需要を超える状況が続いている。過剰な能力はどこに、どのような形で存在しているのだろうか。なぜ、その淘汰は必ずしも円滑に進まないのだろうか。能力過剰な状態は価格や輸出入にどのような影響を与えているのだろうか。一方で、中国、インドネシア、ベトナムなどで大型一貫製鉄所の建設が推進されている。その狙いは何だろうか。大型プロジェクトは各国・諸地域の鉄鋼業の姿をどのように変えていくだろうか。能力過剰の下での設備投資がもたらす競争の力学と、それが日本の鉄鋼業に与える影響について考えたい。

14:30-14:40 休 憩

14:40-15:30 発表45分 + 質問時間5分

講演

「社会インフラ(橋梁)の維持管理・更新等の問題について」

東京・大阪会場：埼玉大学大学院理工学研究科 教授 陸好 宏史
名古屋会場：名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 梅原 秀哲

我が国では、建設後50年以上が経過した橋梁は、20年後には半数を超える。このような急速な橋梁の高齢化とともに、厳しい交通需要や自然環境にさらされてきた結果、老朽化も大きな問題となってきている。既存の橋梁を如何にして長寿命化するのか、あるいは架け替えの判断はどのようにしてなされるのか。本講演では、我が国の橋梁の維持管理・更新の現状および問題点について述べる。

15:30-16:20 発表45分 + 質問時間5分

講演

「2013年度の鉄スクラップ需給の特徴と今後の展望」

鉄鉄リサイクルリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一

2013年度の粗鋼生産は4年連続1億t台をキープした。牽引してきた転炉鋼に加え、電炉鋼が2008年度に次ぐ高水準となったことが特徴である。2014年度は建設工事現場での人手不足問題が顕在化しており予断を許さない。電炉業がおかれている需給環境の厳しさを明らかにすると共に、リサイクル産業としての役割について改めて強調したい。

*電炉業を紹介するビデオ(DVD版)を会場で、ご希望の方には配布可能です。

2014年 電炉鋼材フォーラム 申し込み用紙

申し込み会場にレ点を入れてください。お申込は会場ごとをお願いします。

- 東京会場 2014年10月10日(金)開催於:東京国際フォーラム7F ホールB7 [申込期限:9月 29日(月)]
 大阪会場 2014年10月16日(木)開催於:マイドームおおさか 2F Dホール [申込期限:10月 3日(金)]
 名古屋会場 2014年10月23日(木)開催於:名古屋国際ホテル2F 老松 [申込期限:10月10日(金)]

<申込者> ご出席者をお知らせください。よろしくお願ひ申し上げます。

会社名等		
所属役職		
氏名(ふりがな)	()	どちらかに○を付けてください。 申込者は、出席・欠席する。
住所	〒	
連絡先	TEL	FAX

出席者の業種 ○印をお付けください。

1. 官公庁、自治体、教育、団体関係 2. 建設会社 3. 設計会社 4. 橋梁メーカー 5. 鉄筋加工・圧接関係
 6. 鉄骨加工関係 7. 機械・造船・自動車 8. 商社、流通、特約店等 9. その他()

普通鋼電炉工業会からは参加証を事前にお送りしませんので、申し込まれた方は当日会場受付にお出でください。

出席者氏名 出席者確認のための名簿を作成します。 *用紙は必要に応じ、コピーして下さい。

会社名	所属役職	氏名 (ふりがな)	Tel
		()	
		()	
		()	
		()	

*ご案内先の変更・修正等がございましたら、本案内の封筒に指示をご記入の上、FAX 03-5640-1125宛にご送信下さい。 宛先変更 送信中止 (理由: 業務に不要のため その他)